

～～第8493回～～

赤石岳～荒川三山

～H30. 8. 2-5～

8月2日、安倍川駅前を2台の車に分乗して富士見峠を越えて井川ダムの湖畔を走り畑薙ダムの臨時駐車場に入る。ここから送迎バスに乗り換え樫島に入る。送迎バスは7:30発の始発の便で、1時間ほどで樫島に着いた。天気は良く晴れて、青空の広がる天気となる。2台のバスから降りた登山者は、バス停前の草原の広場で入念に出発の準備を三々五々にしている。我々も準備を整え、ストレッチを入念に行い、イザ出発。神社の鳥居の脇を通り登山道に入る、10分程で車道にでて、右に二軒小屋、左に赤石岳の道標に出会う、我々は左の赤石岳への道を選ぶ、車道を進み間もなく赤石岳の登山口、いきなり急登で、ジグザグに高度を稼ぐ、湿度、気温が高く汗が流れる、1時間ほど登りようやく尾根に達する、少し傾斜が和らぐ、シラビソが広がる尾根を黙々と登坂、樹林帯がつづき日差しが避けられ、ありがたい、11:40中間点のカンバ段に、地図上には林道が表示されているが大分荒れている。標高が2000mになり、林間を抜ける風が心地よい。シラビソの広がる尾根を我慢強く進む、14:10歩荷返し。少し息のつける平坦地で休憩し、ここから足場の悪い登りになった、40分程登り傾斜が緩み、小屋まで後30分の看板に出会う、少し下るように辿りそして水平の道となる、途中でカニコウモリの白い花の群落をたのしみ15:30ようやく赤石小屋到着。小屋の前にテーブルが5台備えてある、ここからの眺めは赤石岳、テーブルを1基かくほして夕食前の楽しい時間である。夕食まで2時間ほどあり、雄大な景色を楽しみながら至福の時間となる。

参加者：7名（静岡西5、焼津2）

天候：晴れ

地図：赤石岳

コースタイム：安倍川＝畑薙ダム 730＝樫島 830-40…赤石岳登山口 850…カンバ段 1155…休憩 1230…4/5ポイント 1340…歩荷返し 1412…赤石小屋 1530(泊)

記録：静岡西支部 福永

8月3日、赤石小屋から外へ出ると、雲も少なく、よく晴れていた。赤石岳・聖岳、展望台から、荒川三山がよく見えた。5:00に朝食をとり、展望台でストレッチをしてから出発した。シラビソの樹林帯からハイマツ帯になると、富士見平(2730m)に着いた。360度の展望があり、北に荒川三山、西に赤石岳、南西に聖岳がよく見えた。東側は雲が多く、富士山は、山頂部分が、霞んで見える程度だった。ラクダの背と呼ばれる尾根の南側の樹林帯を、トラバースして、北沢源頭(砲台型休憩所)(2730m)に着いた。トラバース道には、所々に、栈橋がかけてあった。北沢源頭(砲台型休憩所)からは、北沢沿いに、急登をつづら折りに上がった。途中で水場があった。この辺りは、お花畑になっていて、ミヤマシシウド・マツムシソウ・ハクサンフウロがたくさん咲いていた。ミネウスキソウ・トリカブトも確認した。分岐(樫島下降点)の手前では、チングルマ(種)

が群生している場所があった。分岐(樫島下降点)(3040m)付近で、チシマギキョウ、イブキジャコウソウを確認した。分岐(樫島下降点)からは、稜線歩きになった。南へ行き、赤石岳(3120.5m)に着いた。北に小赤石岳、東に赤石小屋・富士見平、南に聖岳、西に百間平が見えた。富士山は、雲に隠れ、たまに山頂部分が少し見える程度だった。分岐(樫島下降点)へ戻ってから、昼食をとった。稜線を北へ行き、小赤石岳(3081m)に着いた。南に赤石岳がよく見えた。更に北へ行き、小赤石の肩(3030m)に着いた。荒川三山がよく見えた。荒川小屋と小屋へのルート、明日歩く小屋から先のルートの一部が見えた。西側へ、急登をつづら折りに下って、ダマシ平(2850m)に着いた。ここからは、傾斜が緩やかになった。大聖寺平(2720m)付近からは、稜線の東側をトラバースした。ダケカンバの低木帯に入り、荒川小屋(2620m)に着いた。ストレッチをしてから、外で反省会をした。16:30頃から雨が降り出した。17:40に夕食(メイン:カレー)をとって、2階で寝た。金曜日でも混んでいたが、寝るのには、十分なスペースが確保されていた。荒川小屋は、他の小屋とは違い、水場が、小屋から片道3分程度下った所にあった。缶ビール(350ml:600円、500ml:800円)は、赤石小屋は、外の水槽に入れてあるだけで、冷えていなかったが、荒川小屋と千枚小屋は、小屋内で十分に冷やされていた。

参加者：5名(静岡西3、焼津2) 静岡西の2名下山する。

天候：晴(夕方から雨)

コースタイム：赤石小屋 549…富士見平 641-50…北沢源頭(砲台型休憩所) 746-802…分岐(樫島下降点) 930-37…赤石岳 957-1015…分岐(樫島下降点) 1033-1104…小赤石岳 1122-34…小赤石の肩 1151-58…ダマシ平 1220-37…大聖寺平 1255…荒川小屋 1337

記録：静岡西支部 Y. K

8月4日、荒川小屋から外へ出ると、空や山の上のほうに雲やガスがかかっていた。昨晚の雨の影響と思われた。雲やガスは、出発する頃から、徐々になくなって、青空が広がった。5:00に朝食をとり、ストレッチをしてから出発した。稜線の東側をトラバースしながら上がった。ダケカンバの低木帯から、ハイマツ帯になった。途中、小赤石の肩からダマシ平、荒川小屋方面がよく見える場所があった。中岳避難小屋まで60分の標柱を過ぎると、シカ除けの柵があるお花畑があり、ドアを開閉して出入りする必要があった。ウサギギク・ヨツバシオガマ・ウメバチソウ・ヤマハハコなどを確認した。分岐(3050m)からは、稜線歩きになった。南へ行き、荒川前岳(3068m)に着いた。山頂の西側の崖は、ガスが残っていて、ブロッキン現象を確認できた。北に、荒川中岳・荒川東岳(悪沢岳)、北奥に、塩見岳・農鳥岳・間ノ岳、東に、笹ヶ岳・布引山が見えた。富士山は、霞んでよく見えなかった。分岐に戻って、稜線を北へ行き、荒川中岳(3083.7m)に着いた。南に、荒川前岳、その左奥に、ラクダの背・小赤石の肩・ダマシ平がよく見えた。荒川中岳のすぐ先に、中岳避難小屋(3060m)があった。中岳避難小屋からは、東に、雄大な荒川東岳(悪沢岳)の全容がよく見えた。山頂へのルートも見えたが、岩稜帯の部分だけ見えなかった。一旦、コル(2920m)まで下ってから、急登をつづら折りに

上がった。短い距離だが、両手を使うような岩場もあった。岩場を抜けると緩やかな登りになって、荒川東岳(悪沢岳)(3141m)に着いた。山頂付近は、大きな岩がゴロゴロしていた。南の赤石岳方面は、ガスがかかって見えなくなっていた。北の塩見岳・農鳥岳・間ノ岳方面は、よく見えていた。山頂付近で、タカネツメクサ・イワツメクサ・タカネナデシコを確認した。昼食をとってから、大きな岩がゴロゴロしている場所を経て、平らな丸山(3032m)に着いた。この頃から、周辺でガスが出始めて、展望はなくなってきた。千枚岳手前の南斜面に、お花畑があった。マツムシソウ・タカネナデシコ・トリカブトがたくさん咲いていた。タカネビランジ・ミヤマオダマキも確認した。お花畑の先に、千枚岳手前の岩場のやせ尾根が見えていた。ハシゴがかかっている所もあった。慎重に上がって、千枚岳(2880.3m)に着いた。ガスで展望はなくなっていた。千枚岳を下ると、やがて、ダケカンバの低木帯に入った。花は終わりかけだったが、マルバダケブキの群落があった。その先で、千枚小屋(2620m)に着いた。ストレッチをした後、13:30頃から雨が降り出した。小屋の食堂が、15:00まで開放されていたため、食堂で反省会をした。17:40に夕食(メイン:ハンバーグ)をとって、2階で寝た。土曜日で混んでいたが、他の小屋と同様に、寝るのには、十分なスペースがあった。

参加者：5名(静岡西3、焼津2)

天候：晴後雨

コースタイム：荒川小屋 546…お花畑 644-701…分岐 732-39…荒川前岳 743-51…荒川中岳 806-13…荒川中岳避難小屋 818-35…荒川東岳(悪沢岳) 1009-47…丸山 1114-27…千枚岳 1216-30…千枚小屋 1305

記録：静岡西支部 Y. K

8月5日(4日目)、朝食前、小屋前では峰々で山頂部を見せてくれた富士山がオレンジ色の朝日を浴びて雲間に浮かび上がっていた。小屋出発時と到着時、毎回行うストレッチ4日間ほぼ同じ行程を歩いてきた他のパーティの人々が後ろの方で参加している。いつもは日帰り山行でも一日二日筋肉痛に悩まされるのに、今回は翌日から仕事に就けたのは入念なストレッチのお陰と感謝している。最終日の距離8.6kmは標高2610mから1120mへ1500m下りのみ。暫らくはオオシラビソとダケカンバの樹林帯が続く。明治の終わり伐採した木材を運んだ木馬道の後だ。1時間半程で見晴台(2140m)に着く。初日の大倉尾根から小赤石岳・荒川小屋・中岳・悪沢岳・丸山・千枚岳の稜線が一望できる。蕨段を経て清水平を過ぎた辺りから、林道沿いを緩やかに小石下(1587m)まで下る。林道を横切るとこの日一番の難関 岩頭見晴の岩尾根に苦戦する。ようやく吊り橋が見えてきた。新しく吊り橋が開通し滝の前を通らないで樺島に戻ることができる。予定より一時間程早く下山でき、バスの時間までゆったりと過ごす。繁忙期には畑薙ダムよりピストンで臨時バスが出るとのことだ。帰り白樺荘に立ち寄り汗を流し静岡に向かった。

参加者：5名(静岡西3、焼津2)

天候：晴れ

地図：赤石岳

コースタイム：千枚小屋 540…見晴台 710-20…蕨段 735…清水平 805…林道…小石下 915  
…林道…岩頭見晴 1000…吊り橋 1100-10…榎島 1130 = 畑薙ダム駐車場 1300=静岡着  
1800

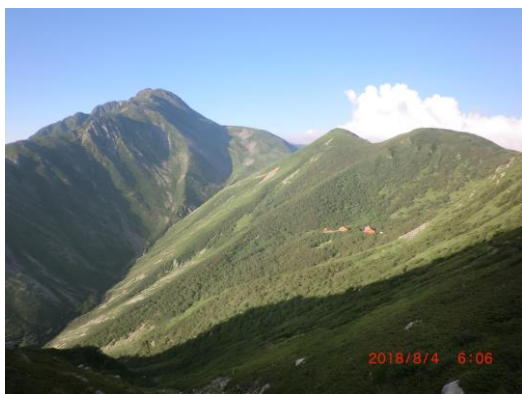
記録：焼津支部 馬場



赤石岳をバックに笑顔の3人



赤石岳頂上



中岳の登りで荒川小屋を振り返る